

令和6年度第1回吹田市立中学校部活動管理運営業務プロポーザル選定委員会

【議事概要】

1 開催日 令和6年12月27日(金)午後1時30分から午後2時15分まで

2 開催場所 吹田さんくす3番館4階 教育委員室

3 参加者 委員長:学校教育部教育未来創生室長

委員:学校教育部次長(学校教育室長兼務)

都市魅力部文化スポーツ推進室長

地域教育部次長(放課後子ども育成室長兼務)

地域教育部青少年室長

事務局:学校教育部教育未来創生室

4 内容

吹田市立中学校部活動管理運営業務公募型プロポーザル実施要領(案)の承認について

5 議事要旨

委員長:出席者数の確認(委員5名中5名出席)を行い、定足数を満たし、本委員会が成立していることを確認。

事務局:実施要領、関係書式、審査評価基準、仕様書の各案について説明

<質疑応答>

委員:事業者の参加表明期間に年末年始が含まれているが、参加事業者数に影響はないのか。

事務局:事業者が参加を検討する期間は短くなるかもしれないが、最優秀事業者を決定後、指導者の配置準備に係る期間をなるべく長く確保することが重要と事務局で判断し、このスケジュール案とした。

委員:本業務の契約期間は2年と短期間である。短期間で委託事業者や指導者が変わってしまうと生徒、保護者、学校に混乱を招くなど負担が大きいのではないかと。長期的・安定的に事業継続が可能になる仕組みを作ったほうがいいのではないかと。

事務局:現在はまだ試行実施の段階のため契約期間が長期ではないが、今後、本格実施する場合に備えて、長期的・安定的に事業を実施できる手法や委託事業者を評価する仕組みの構築について検討していく。

委員:16校43部活の指導者数は何人程度を想定しているのか。

事務局:配置する指導者数を含めて参加事業者に提案してもらいたいと考えている。

委員:部活動が外部委託になることに賛成の教員もいればそうでない教員がいると思うが今回

の43部活はどういった基準で選んだのか。

事務局：顧問の異動等で存続が危ぶまれるものを外部委託の対象とした。

委員：委託対象が16校43部活となっているが、市内18校のうち竹見台中学校と高野台中学校のみ対象としていないのはなぜか。

事務局：部活動外部委託の試行実施を進める中で、既に実施している5校5部活の外部委託と本プロポーザルで新たに外部委託する16校43部活を合わせて、市内18校すべての学校で委託部活動を1部活以上含むことを計画している。竹見台中学校及び高野台中学校については、新たに委託対象とする部活動はないが、既に外部委託の試行実施を開始している状況である。

委員：他業務のプロポーザルでは一次審査として書類審査を行った後に二次審査としてプレゼンテーション及びヒアリングを行うことがある。本プロポーザルで審査を分けないのはなぜか。

事務局：多数の事業者の応募が見込まれる場合に一次審査として書類審査を行い、プレゼンテーション及びヒアリングを行う事業者を絞り込むことがあるが、本プロポーザルにおいては、前回のプロポーザル実施結果や他自治体の類似業務のプロポーザル実施状況を踏まえて、今回は審査を分けず一括で行える参加事業者数になると見込んでいる。

委員長：以上の意見を踏まえ、吹田市立中学校部活動管理運営業務公募型プロポーザル実施要領(案)を承認してよいか。

委員：了承する。